

高齢早期胃癌患者の根治的胃切除後の予後不良因子の後ろ向き探索研究

1. 研究の対象

2006年1月～2011年12月に当院で胃がんの手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

高齢者は同じ早期癌であっても、予後は患者ごとに異なるため予後予測は難しいです。今回の研究の目的は、高齢早期胃癌患者の予後不良因子を見つけて、治療成績を改善するための問題点を明らかにすることです。2006年1月から2011年12月の期間に組織学的に胃腺癌と診断され、胃切除を行い病理Stage1期と診断された患者さんを対象とします。5年生存をアウトカムにして予後不良因子を単変量解析、多変量解析を用いて同定し、予後予測のスコア化を探索します。研究期間は臨床研究倫理委員会承認後～2019年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、合併症等の発生状況、再発の有無、生存期間、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒534-0021 大阪府大阪市都島区都島本通 2-13-22

電話 06-6929-1221

研究責任者：地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター

消化器外科科 櫻井 克宣